

# JA運動の実践組織として更なる躍進を



宮崎県農業協同組合中央会  
会長 福良 公一

宮崎県農協青年組織協議会が昭和33年に発足し、ここに60周年を迎えられましたことを心より  
お喜び申し上げます。

本県農業の振興を始め、地域農業の実践者として、多彩な活動と学習を重ねてこられたJA青年部  
の皆様、そして組織の先導者として日夜ご奮闘をいただきました歴代委員長・役員のご尽力に対し、  
心から敬意を表したいと存じます。

JA青年部発足から今年で60年を迎えられ、この間、わが国の農業・農村を巡る情勢は、食料増産・  
選択的拡大から、米をはじめとする生産調整型の時代を迎え、農畜産物の低迷、牛肉・オレンジの輸  
入自由化、米市場開放阻止運動、WTO・TPP・日欧EPA交渉、農業改革、種子法廃止、市場法改正とい  
う大激変の道を歩んできました。

このような大きな時代の流れの中で、本県のJA青年部はJA運動の先駆者として、また実践者とし  
て県内外で組織活動、農政運動さらには地域貢献活動を展開してこられました。

また、食農教育の原点であります「農家のおじちゃんと語る会」では、当時約10校から始まりまし  
たが、現在では96校にまで拡大しております。さらにJAえびの市青年部で始まった「食と農をキビリ  
隊」活動では、管理栄養士を目指す学生に本県農畜産物の理解醸成と安全・安心のPR活動を年間を  
通して取り組んでいただいております。JAえびの市青年部、JA宮崎中央青年部、JA綾町青年部と  
脈々と引き継がれています。

こうした中、JAグループでは、『農』を基軸として地域と共に歩むJAグループ宮崎』をメインテー  
マに掲げ、「所得アップGO!GO!テン」運動の実践や『食と農』『助けあい』を核とした仲間づくり」  
運動の実践に取り組んでいます。農家組合員を後ろから支え、側面からサポートし、真正面から説明  
できる、地域から必要とされるJAを目指します。

最後になりますが、宮崎県農協青年組織協議会が結成60周年を機に、今後も本県の地域農業を支  
え、活力ある組織運動となりますよう、そして、本県農業の後継者・地域のリーダーとして、営農振興  
に取り組まれますよう、さらに結束を深められ、協同組合運動の実践組織として、未来に向けて大き  
く躍進されますことをご祈念申し上げます。